

2014年度事業計画書

NPO法人近畿アグリハイテク

近畿地域(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、福井県)における農林水産・食品バイオテクノロジー等先端技術(以下「アグリハイテク」という)の研究および技術開発の推進、並びにこれによる農林水産・食品産業の発展に寄与するため、下記の事業を実施する。今年度、農林水産省が公募した「民間活力を活かした研究の推進」の中の「事業化を加速する産学連携支援事業」に、(公社)農林水産・食品産業技術振興協会(JATAFF)他、全国5つの団体とコンソーシアムを作って応募し、委託をうけることができた。この事業では、“農林水産業・産業界の研究ニーズ等を収集し、農林水産業、食品産業の成長産業化を加速化するために必要な研究の課題設定を現場ニーズに対応したものとするとともに、研究の開発段階から産学が密接に連携し、早期に成果を実現できるよう支援”することが求められている。

1. アグリハイテクに関する研究および知的財産情報等の収集および提供

アグリハイテクに関する全国の試験研究機関の研究成果、行政制度・施策、各省の提案公募型研究開発事業等に関する情報、知的財産に関する情報等を収集する。収集した情報は、必要に応じて適宜会員ニュースとして提供する。

2. 産学連携による研究・事業化支援業務

(1) 産業界等の技術開発ニーズの収集、活用可能な技術の調査及び紹介

訪問活動や面談活動の中で得られた活用可能な技術(シーズ)情報については、速やかに特許検索を行い、農林水産省の産学連携支援活動に有効と思われるものを幅広く選択し、全文の Pdf ファイルを印刷・製本するとともに、Evernote に転送・保存し、全文単語検索できるようにする。

(2) 研究者や産業界等の技術開発に関心を持つ関係者間の連携支援、共同研究へ参画する機関の紹介及び研究計画の作成支援

これまでに近畿アグリハイテクに情報収集に来訪された研究者や企業等の研究者情報をマッチング支援の観点から整備し、研究者間の連携や研究計画作成支援に資する。

(3) 事業化・商品化支援(事業化・商品化に係る研究機関やパートナー企業等の紹介、規制・規格等の調査・情報提供等)

昨年度、関西に拠点をおく弁理士と連携がとれるようになったので、協力を得ながら、必要に応じて規制・規格等の調査・情報提供をすすめる。アグリビジネス創出フェアに、コンソーシアムとして出展できるように努力する等、事業化・商品化を進める段階にある成果については積極的に広報につとめる。

(4) 研究資金等の取得支援(様々な研究資金・事業化資金の紹介、提案書のブラッシュアップ等)

種々の競争的研究資金制度の公募が行われた時には、時宜を逸することなくメールニュースで情報提供を行う。また、研究計画書や提案書の作成に際しては、それぞれの公募要領に即した提案となるよう、内容や表現についてアドバイスを行うとともにブラッシュアップを行う。

提案課題が採択された場合には、研究総括者と相談の上、推進会議に出席するなどして、実用化等研究の所期の目的が達成されるよう引き続き支援を行う。

(5) 知的財産マネジメントに対する支援(知的財産関係の相談対応、簡易な先行研究・先行特許調査等)

研究計画立案時等に際して、民間の特許データベースを活用した先行特許調査を行うとともに、必要に応じて知財関係の会員や、連携している弁理士事務所の協力を得ながら、知的財産のマネジメント支援を行う。

(6) 産学連携に関する各種支援制度や支援機関の紹介

関係する農政局との連携を一層密にしながら、産学連携に関する各種支援制度や支援機関の動向を絶えずフォローするとともに、農商工連携、6次産業化等の各種支援制度の紹介をメールニュースで行う。また、適宜、ホームページの「産学官連携支援に向けて」のページに掲載して情報提供を行う。

(7) 産学連携に関する地域内での連携体制の強化

大学、公設試、独法、府県の産学連携支援機関、農政局はじめ国・府県の行政組織等とのこれまでの連携を基本として、大学等の産学官連携本部等とのネットワークを活用し、異分野との繋がりを強化する。また、地域内の関係機関による会議等に積極的に参加し、産学官連携の情報を得るとともにネットワークの強化を図る。

(8) その他産学連携を推進するための業務

競争的資金による共同研究形成支援の成功事例については、これまでホームページで紹介しているが、この活動を継続する。

「近畿地域大豆研究会」「明日の農と食を考える研究会」などの研究会活動支援は継続して行う。近畿地域における機能性研究推進支援のため、ホームページに機能性データベースを掲載しているが、この活動を継続する。

3. 産学連携による研究・事業化促進業務

(1) 技術交流展示会の開催

東京で開催される「アグリビジネス創出フェア」に積極的に参加し、異分野・異業種企業との出会いのチャンスの増加を図る。

異分野交流を促進し、出会いの場を増やすため、異分野の技術展示会等に参加し、情報収集するとともに面識を深める。

(2) 講演会・シンポジウム等の開催

各府県や独法で個別に実施されている研究課題のうち、共通しているテーマについて、地域活性化の観点から、成果を検討するシンポジウムを企画する。

近畿農政局と連携して、競争的資金制度説明会を開催する。

近畿産大豆生産・需要拡大協議会、近畿中国四国農業研究センター等の他団体からの、セミナー・シンポジウムの共催・後援依頼については、積極的に対応する。

(3) ホームページ等による技術情報の提供等

シンポジウムの講演要旨等については、公衆送信権に配慮しながらホームページでの公開を行えるようにする。また、コンテンツの一層の充実を図るなど、技術情報の提供、情報発信を強化し、地域における存在感を増す努力を行う。